

### 第3回飯塚市文化施設活用検討委員会（R4.7.28開催） グループ討議での主な意見（A班）

#### ① 建物の歴史的文脈を継承した劇場の使い方について

##### 【A委員】

- ・劇場を使用していくにあたって、いくつか考えるべき点がある。
  - ✓ バリアフリーをどこまで考えるか、車いすに対してはスロープか人力か。
  - ✓ 重要文化財指定を目指すのか否か。
  - ✓ 栈敷の椅子はどうか。→栈敷を取っ払って戻せるようにする。その際の傾斜をどうか。
  - ✓ 正座をすることが難しい人への配慮
  - ✓ 劇場の設備のスペックをどこまで求めるのか。現在、シーリングライトは仮設で置いている。子どもたちが使う場合は、より高いスペックが求められる。

##### 【B委員】

- ・嘉穂劇場のお客様は誰か。4つのカテゴリー（日本人、外国人、演者、子ども）で考えてみた。
- ・古きものは残すべき、演者は手動の不便さも受け入れている、ただし、舞台裏の快適さは必要なものとして、新しい機能を付けたほうがよい。
- ・必要な新規設備は劇場周辺に必要である。
- ・人気役者も呼べるように古さとともに快適さを提供できる場になってほしい。
- ・海外の観光客を考える視点は大切である。

##### 【C委員】

- ・劇場を使っていない時を見てもらう工夫が観光の視点につながる。
- ・嘉穂劇場の歴史がわかるコーナーを充実させ、観光客の知的好奇心を駆りたてる。解説者の配置も必要。
- ・見るだけでなく、ここでしかできない体験を企画することが観光客増につながる。ここでしか買えないお土産を作り、人を呼び込む工夫をすることが必要。

##### 【D委員】

- ・今あるものを大切に残したい。裏の現在の楽屋も含めて。
- ・興行時の幕の内弁当も残したい。
- ・子どもたちに嘉穂劇場を体験させたい。そのために子どものための歌舞伎や見学旅行

で使うなど考えてはどうか。

#### 【E 委員】

- ・小中学生に嘉穂劇場を知ってもらうことが大切。
- ・嘉穂劇場の歴史についても学び、学校内で発表しあうようなことがあったらいい。
- ・飯塚市内の小中学生だけでなく、嘉麻市の小中学生にも嘉穂劇場を知ってもらいたい。そのためには見学旅行など受け入れたらよい。
- ・子どもたちのネットワークは広がっているので、子どもたちから子どもたちへ伝えていくこともできる。
- ・嘉穂劇場は和太鼓クラブの演奏場所として利用できる。

#### 【F 委員】

- ・今の時代、江戸や昭和へのあこがれ、忍者やサムライへのあこがれがあり、それらが体験できる場所としての嘉穂劇場を提供することを考えてみてはどうか。たとえば、長崎街道を彷彿させる衣装が着ることができる、歌舞伎が年1回は見ることができる、芝居小屋文化を嘉穂劇場で感じることができる。役者の追体験ができるなど。
- ・その時、お弁当は大切である。
- ・奈落や桝席の存在を知らせることも大切である。
- ・稲荷神社もおみくじなどひけるようにし、活用する。
- ・歴史的な空間で記念写真が取れる場所として劇場を活用する。

### ② 今の時代にマッチした、劇場の魅力を引きだす使い方

#### 【A 委員】

- ・これからの劇場には、子どもが「知る」、「舞台に立つ」ことが大切。
- ・かつての劇場は毎日興行していたので賑わいはあった、今の劇場は残念ながら賑わいを生まない。そのような中で、地域の人々の支えをどのように構築していくのか、考える必要があると思う。
- ・『興行か公共か』のテーマも重要である。

#### 【B 委員】

- ・古さを残しながら新しい機能が付加されなければ嘉穂劇場の維持は厳しい。
- ・周辺を可能な限り再整備するとともに、オープンな空間をつくる。
- ・本町から東町、そして劇場まで誘導する通りができれば、地域活性化につながるのではないかと。
- ・市民とのつながりを強めるためのイベントの開催も大切である。

### 【C 委員】

- ・ユニークアベニュー（会議、宿泊、結婚式等）としての活用。より多様化した利用方法の検討が必要ではないか。
- ・VR で芝居が見られるようにする、子どもに安価で使ってもらえるなどの工夫を。

### 【D 委員】

- ・宿泊できる芝居小屋であってほしい。
- ・周辺地域（商店街等）を巻き込んで忍者、コスプレ等開催するなどしてはどうか。
- ・子どもたちが嘉穂劇場で遊ぶ体験をすることが大切であり、そのためにかつて実施されていた「子どもキャンプ」の開催を改めて考えたい。
- ・長崎街道や炭鉱の歴史と芝居小屋をつなげて地域活性化を目指してはどうか。

### 【E 委員】

- ・SNS を利用し、写真や動画等で現状とかつて利用していた時のことを紹介する。
- ・見学できない人のために VR を利用した劇場案内があったほうがいい。
- ・客席が近く、和風の舞台は和太鼓の演奏がとても合うと思う。（自分たちが実際に利用したい。）

### 【F 委員】

- ・小中学生の探求学習の場として劇場を活用することができると思う。また、修学旅行、見学旅行の受け入れなどにより嘉穂劇場が子どもの記憶に残る場所になってほしい。
- ・映画やドラマのロケ地としての活用は十分に考えられる。マルシェの開催場所としてもよい。
- ・メタバースの空間として嘉穂劇場を利用するのはどうか。
- ・宿泊できる劇場、子どもたちの学芸会や発表会から大学の学会まで開催できる、多様な空間として使ってはどうか。
- ・誕生日会や餅まきなど、他の施設でできないことを劇場でやれるようにしてはどうか。
- ・嘉穂劇場のファンクラブの設立は重要である。



### 第3回飯塚市文化施設活用検討委員会（R4.7.28開催） グループ討議での主な意見（B班）

- ・今の施設に利用制限があるのであれば、より多くのイベントや企画に対応できるように、本体に傷付けない程度の簡易的な取り外し可能なものを用意するなど、工夫があったほうがよい。
- ・まず席は枠が外れて平らになったほうがよい。高額なものでなくて、柔軟に対応できるような工夫がほしい。嘉徳劇場は人力で対応できるもののほうが劇場にマッチしているかもしれない。
- ・もともと柵席の部分は平土間といわれていた。平らなほうが使いやすい。文化財としての痕跡を残す必要はあるが、使うときはないほうが安全である。
- ・見学の際には柵席を見てもらい、非日常的な雰囲気を味わってもらうが、(芝居等で)使うときには外すのがいいか。
- ・イベント主催者には、現状復旧まで含めて貸し出してはどうか。
- ・伝統を残す部分は残すが、施設の用途を広げるための工夫は必要である。
  
- ・八千代座の見栄えに嘉徳劇場は勝てない。のぼり旗を多く立ててインスタ映えを狙ってみてはどうか。
- ・嘉徳劇場は重要文化財を目指すのか。
- ・大正時代のシャンデリアを一つつけるだけで嘉徳劇場もいい雰囲気になるのではないか。
- ・嘉徳劇場を正面から写真に収めようとしても、駐車場の屋根が邪魔をする。駐車場の屋根は興ざめであり、劇場にとって重要なものではない。
- ・のぼり旗はもっと地域に広がったほうがいいのではないか。のぼり旗はお客様の誘導サインになる。
  
- ・コンテンツに関して、福岡市のイベントと組んで実施するほうが、コストが下がっていいのではないかと思う。例えば、チャンネルと嘉徳劇場をセットにすると、両者の設備は対照的で演者もやりたがるのではないか。面白い企画ができると思う。
- ・サーカスなど、恒例的なものを毎年同じ時期に実施するなどできたら、年間スケジュールも組みやすい。
- ・単発的なものと持続性のあるイベントをバランスよく配置することが大切。
- ・デジタルを活用した「嘉徳劇場チャンネル」など企画・配信することで収入アップも期待できるのではないか。
  
- ・歴史的な観点からは、座長大会をぜひ嘉徳劇場で実施し、座長大会の聖地として復活

させたい。

- 座長大会を YouTube で配信するなどすると、大きな反響があるのではないか。国内だけでなく、国外でも関心を持ってもらえるだろう。
- YouTube は、ビューアの獲得だけでなく、アーカイブとしても残していけるので一石二鳥のツールである。また一つの作品としてでも使うことができ、汎用性が高い。
- LGBTQ のイベントを開催すると、全国から人が集まってくる。環境問題など今世界で話題になっているテーマに絞って、嘉徳劇場でイベントを実施すると話題性も高く、インパクトがあると思う。
- ステージ上の演目を見ないと、廻り舞台などの仕掛けを見ても感動がない。YouTube 等で事前に演目や仕掛けの動作など見てもらってから見学してもらおうと価値も上がるのではないか。ストーリーを示さなければ、どれだけすごいものかがわからずもったいない。
- 劇場前に興行の大きな看板が設置しているが、あの絵を子どもたちに書かせてはどうか。小中学生も劇場を盛り上げるために一緒に活動するような場面があったらいいと思う。
- 劇場を維持していくためには地元住民のコミットメントが大切。大人はもちろんのこと、子どもたちに体験させることが重要であり、地道に継続的に実施していく必要がある。
- e-スポーツ大会や学校のイベント、スタートアップのプレゼン大会など、劇場をフラットな形で利用できたらいい。
- イベントでの使いやすさが収益とも関係してくると思われる。そのためにはプロジェクターの設置や Wifi 環境の整備など、設備に関しては今の時代の使用に耐えうるだけの改善が必要。
- e-スポーツを嘉徳劇場でやると話題になる。e-スポーツに限らず、何かの『聖地』を狙うことが大切ではないか。毎年必ず実施される『聖地づくり』が大切である。
- 福岡市だけでなく、北九州市からも人が呼べる位置にあるのが飯塚市である。北九州市は演劇に力を入れている都市である。北九州市も視野に入れて考えてはどうか。
- 福岡市や北九州市の劇場単体では呼ぶことの難しいイベントも、嘉徳劇場を含めた 3 施設で実施するとかなり効率的に運用できるのではないか。
- 近代的な設備の中で楽しめる福岡・北九と古き設備の中で楽しめる嘉徳劇場と、それぞれ演出を楽しむことができる。

- ・シルク・ド・ソレイユが嘉穂劇場でやれば、とても面白い演出が可能だと思う。
- ・嘉穂劇場は広さがあり、それが魅力である。
  
- ・現駐車場は駐車場として使う必要がなく、トレーラーやキャンピングカーを設置して仮設の楽屋として利用するなど、広さを有効に活用できるのではないかな。
- ・見る側も仮設の楽屋などがあって楽しめると思う。
- ・ただし、観光バスの乗降場所が必要。

## 嘉穂劇場の新たな活用を図るための論点の整理

### 1. 嘉穂劇場の新たな活用策を検討するにあたって注目すべき利用者（お客様）の整理

(案) 市民、子ども、演者、外国人

- ✓ 市民が利用でき、市民が誇れる劇場に
- ✓ 子どもたちが思い出を作り、子どもたちに愛される劇場に
- ✓ 演者から愛される劇場に
- ✓ 外国人に大きな興味を持ってもらえる劇場に

第3回のグループ討議で新たな活用策を検討する中で、多くの委員がイメージした利用者を整理し、委員の劇場に期待するイメージを上記表現で整理。ただし、上記以外の利用者を排除しようとするものではなく、利用者を明確にしたほうが、そのための対応策の検討が行いやすいと考え、嘉穂劇場を特徴づけるための作業として行っているもの。

### 2. これからの嘉穂劇場が担う性格とそれぞれの性格に求められるもの

#### (1) 劇場（芝居小屋）（文化施設）であること

- 演者に選ばれる施設であること
- 観覧者が楽しめる施設であること

#### (2) 国内外の観光資源となり得るものであること

- 劇場空間を楽しむ仕掛けがあること
- 繰り返し訪問したくなる、あるいは訪問者が発信者となって新たな観光客を呼び込む仕掛けがあること
- 観光客を呼び込む仕組みが儲かる仕組みにつながるものであること

#### (3) 公共施設であること

- （施設の形態を生かした使い方であって、）文化施設・劇場として多目的に使える施設であること
- 障がいのある方にも配慮した施設であること
- 年齢を問わず、利用できる施設であること

#### (4) 文化財であること

- これまで通りの形を残すこと  
万一反変更しても、元の形に戻すことができること
- 地域の歴史を学ぶ、地域の文化を学ぶことが可能であること

本市の文化財、観光資源において、これら4つの性格を持つ施設は嘉穂劇場以外にない。



## イヅカコスモスコモンで開催された事業の分類表 (H29～R元)

会場	No.	ジャンル	H29年度				H30年度				R元年度			
			公益		収益	合計	公益		収益	合計	公益		収益	合計
				内自主事業				内自主事業				内自主事業		
大ホール	1	演劇 (芝居)	2		2	4	1		1	2				0
	2	ダンス・舞踊				0				0	1			1
	3	歌舞伎・伝統芸能	1	1		1	1	1	1	2	2	1		2
	4	歌謡ショー			4	4			4	4			5	5
	5	ポピュラー音楽	15	1		15	7	2		7	6	2	1	7
	6	クラシック音楽	15	1	3	18	13			13	7	1		7
	7	エンタメ	1	1		1	8	8		8				0
	8	漫才・落語・浪曲				0	1			1				0
	9	格闘技				0				0				0
	10	発表会	27	3		27	34	3		34	25	2		25
	11	会議その他	20	2	1	21	18	1		18	21		6	27
		合計	81	9	10	91	83	15	6	89	62	6	12	74
中ホール	1	演劇 (芝居)	2			2	2			2				0
	2	ダンス・舞踊	3		1	4	3			3	5			5
	3	歌舞伎・伝統芸能	1	1		1				0				0
	4	歌謡ショー				0			1	1				0
	5	ポピュラー音楽	3	3	1	4	3	2		3	3	2	1	4
	6	クラシック音楽	8	2		8	7	2	1	8	6	2		6
	7	エンタメ	8	7	1	9	7	7	1	8	7	6		7
	8	漫才・落語・浪曲				0				0				0
	9	格闘技				0				0				0
	10	発表会	48	2	8	56	49	4	5	54	49	2	3	52
	11	会議その他	39	7	2	41	35	8	5	40	35	2		35
		合計	112	22	13	125	106	23	13	119	105	14	4	109
展示ホール	1	演劇 (芝居)	5			5	1			1				0
	2	ダンス・舞踊				0				0				0
	3	歌舞伎・伝統芸能				0	1	1		1	1	1		1
	4	歌謡ショー				0				0				0
	5	ポピュラー音楽				0	2	2	1	3	1	1		1
	6	クラシック音楽	2	1	1	3	1			1	1	1		1
	7	エンタメ	1	1		1				0				0
	8	漫才・落語・浪曲				0	1			1				0
	9	格闘技				0				0				0
	10	発表会	7	5		7	30	3	1	31	29	3	1	30
	11	会議その他	57	3	34	91	48	1	47	95	43	2	49	92
		合計	72	10	35	107	84	7	49	133	75	8	50	125



イイツカコスモスコモン 貸館利用実績(平成29年度)

H29.4月～H30.3月		開館日数(下段:会館コマ数)						利用人数
		平日		土・日・祝		合計		
		日数	193	日数	115	日数	308	
		コマ	579	コマ	345	コマ	924	
		利用数	利用率	利用数	利用率	利用数	利用率	
大ホール 客席数(固定席) 1484席 (1F:1052、2F:432) その他、車いす席、 親子席あり	公演日	39	20.2%	66	57.4%	105	34.1%	100,826
	仕込み・練習コマ	211	/	158	/	369	56.3%	
	本番コマ	45		106		151		
	利用日数	198				198	64.3%	
中ホール 客席数(固定席) 562席 その他、車いす席、 親子席あり	公演日	63	32.6%	70	60.9%	133	43.2%	60,694
	仕込み・練習コマ	208	/	170	/	378	59.0%	
	本番コマ	73		94		167		
	利用日数	223				223	72.4%	
展示ホール 面積 450㎡	公演日	74	38.3%	63	54.8%	137	44.5%	35,722
	仕込み・練習コマ	209	/	155	/	364	68.6%	
	本番コマ	146		124		270		
	利用日数	238				238	77.3%	
						計	197,242	

イヅカコスモスコモン 貸館利用実績(平成30年度)

H30.4月～H31.3月		開館日数(下段:会館コマ数)						利用人数
		平日		土・日・祝		合計		
		日数	193	日数	115	日数	308	
		コマ	579	コマ	345	コマ	924	
		利用数	利用率	利用数	利用率	利用数	利用率	
大ホール 客席数(固定席) 1484席 (1F:1052、2F:432) その他、車いす席、 親子席あり	公演日	35	18.8%	60	52.2%	95	30.8%	100,172
	仕込み・練習コマ	176		169		345	51.4%	
	本番コマ	42		88		130		
	利用日数	182				182	59.1%	
中ホール 客席数(固定席) 562席 その他、車いす席、 親子席あり	公演日	61	31.6%	76	66.1%	137	44.5%	57,961
	仕込み・練習コマ	192		164		358	57.0%	
	本番コマ	70		101		171		
	利用日数	220				220	71.4%	
展示ホール 面積 450㎡	公演日	75	38.9%	62	53.9%	137	44.5%	38,459
	仕込み・練習コマ	221		143		364	69.3%	
	本番コマ	154		122		276		
	利用日数	238				240	77.9%	
						計	196,592	

# イヅカコスモスコモン 貸館利用実績 (令和元年度)

H31.4月～R2.3月		開館日数(下段:会館コマ数)						利用人数
		平日		土・日・祝		合計		
		日数	189	日数	120	日数	309	
		コマ	567	コマ	360	コマ	927	
		利用数	利用率	利用数	利用率	利用数	利用率	
大ホール 客席数(固定席) 1484席 (1F:1052、2F:432) その他、車いす席、 親子席あり	公演日	25	13.2%	57	47.5%	82	26.5%	87,860
	仕込み・練習コマ	141	/	155	/	296	44.9%	
	本番コマ	28		92		120		
	利用日数	166				166	53.7%	
中ホール 客席数(固定席) 562席 その他、車いす席、 親子席あり	公演日	54	28.6%	67	55.8%	121	39.2%	49,003
	仕込み・練習コマ	146	/	161	/	307	50.6%	
	本番コマ	63		99		162		
	利用日数	187				187	60.5%	
展示ホール 面積 450㎡	公演日	70	37.0%	58	48.3%	128	41.4%	34,002
	仕込み・練習コマ	217	/	147	/	364	67.3%	
	本番コマ	138		122		260		
	利用日数	240				240	77.7%	
						計	170,865	

## 嘉徳劇場とイイツカコスモスコモンとの連携について 関係者ヒアリングからの抜粋

### 1 嘉徳劇場とイイツカコスモスコモンの役割の整理

- ◆ コスモスコモン建設の際、嘉徳劇場とのすみ分けを「嘉徳劇場はその存立の歴史と現状から、古典芸能・大衆芸能の専門劇場として、一方新設予定の市立文化ホールは、現代舞台文化に親しめるホールとして、つまり互いの施設は、車の両輪として飯塚市民の舞台文化を育み薦める場」としたが、この原則は今でも生きていると思っている。
- ◆ 嘉徳劇場は、古典芸能でにぎわった施設とは言えないが、コスモスコモンではなるべく古典芸能は避け、嘉徳劇場との両輪で文化活動の振興を進めてきた。
- ◆ そのため「伝統芸能は嘉徳劇場で、クラシック音楽はコスモスコモンで」という暗黙の了解ができていたように思う。
- ◆ コスモスコモンで、最近寄席を行っているが、以前は床がフラットでコンパクトな展示ホールで開催していたが、床がフラットであるため見づらく、また座席が窮屈ということで中ホールに変更している。嘉徳劇場の座席は敬遠する人も多いかもしれない。
- ◆ コモンと嘉徳劇場を併用する際には、例えば、バリアフリーはコモンに任せて、栈敷を生かした活用をする際は嘉徳劇場というようなすみ分けを考えてはどうか。多くの人々に開かれた施設であるほうがよく、一定の配慮は必要であると考えているが、嘉徳劇場は柵席、栈敷席に座ることが意味あることであり、飯塚高校の生徒からも、嘉徳劇場の環境から学ぶこと（柵席での譲り合いや声掛けなど）が多かったと聞いている。
- ◆ コスモスコモンの設置目的は本市の文化振興が主たる目的である。一方、嘉徳劇場は娯楽や観光的要素を多く持っていると思うが、「観光」の視点だけでは完全なすみ分けは難しいのではないかと思う。
- ◆ コスモスコモンは市民の文化に触れるすそ野を広げる役割をもつ施設であり、一方、嘉徳劇場は他にはない飯塚の「とんがった」部分を引き出す施設として考えるのが良いのではないか。

- ◆ これまで、嘉穂劇場とコラボで何か事業を企画・実施するようなことはなかった。コスモスコモンは音響に優れたホールとして、高く評価されている。「音」を楽しむ場所は「コスモスコモン」、それ以外は嘉穂劇場というすみ分けになるのだろうか。「それ以外」としても、嘉穂劇場の防音に対する配慮は必要である。
- ◆ 嘉穂劇場は利用料が高く、これまで学校でホール等を使用する時は安価なコスモスコモンとうまく使い分けていた。それでも嘉穂劇場を利用するのは、アピール力が高いなどのメリットがあるため。

## 2 コスモスコモンからみた嘉穂劇場のキャパシティ等について

- ◆ コスモスコモンは中ホールのほうが使いやすいのか利用が多い。嘉穂劇場も現在の定員 1200 名を減少させて、1000 人未満の劇場にするほうが稼働率が高くなるのかもしれないが、興行主からすると、定員を少なくすれば収益も少なくなるので難しいところではある。
- ◆ コスモスコモンは安価で利用できた。コスモスコモンの展示ホールはほとんど利用が詰まっており、なかなか利用できない。嘉穂劇場の座席をフラットにしたら、利用頻度も高くなるのではないか。

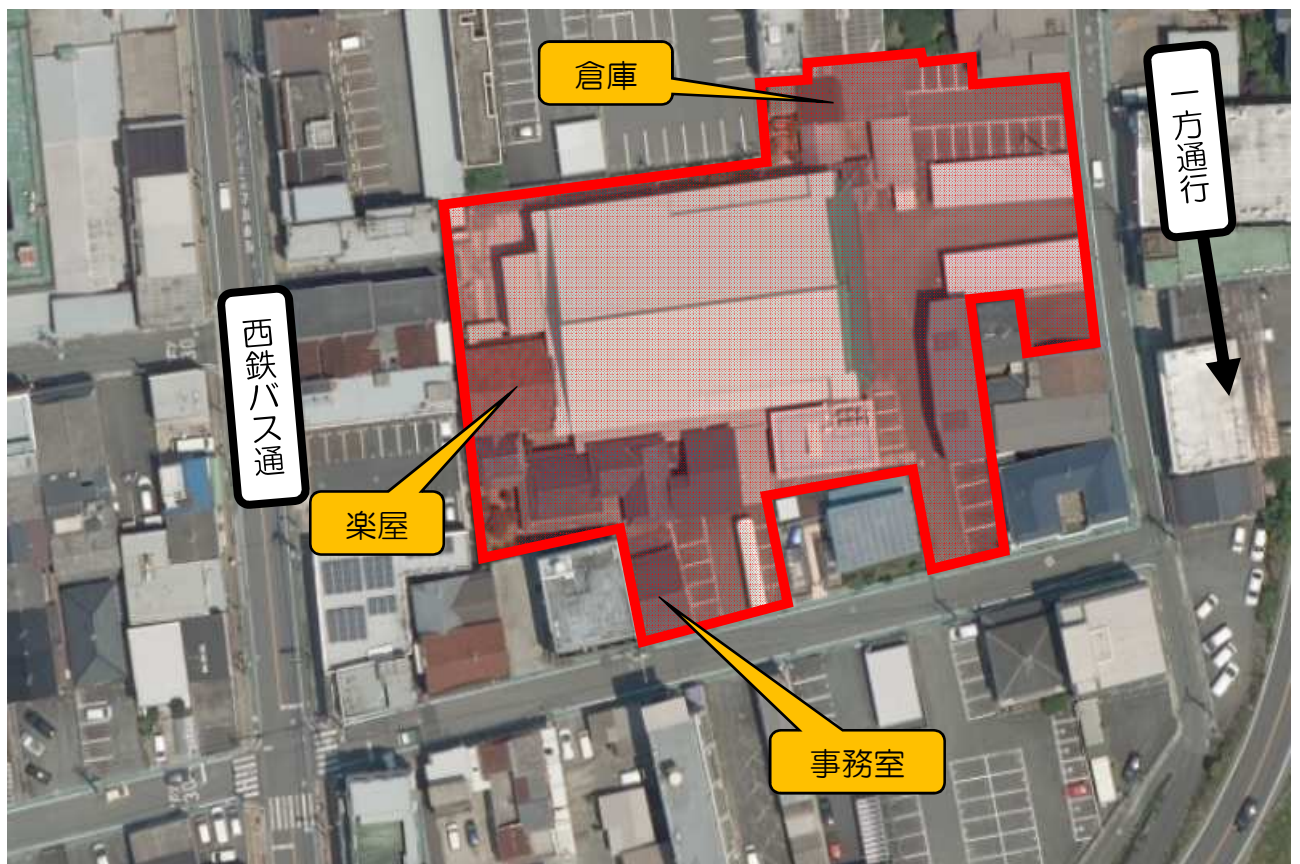
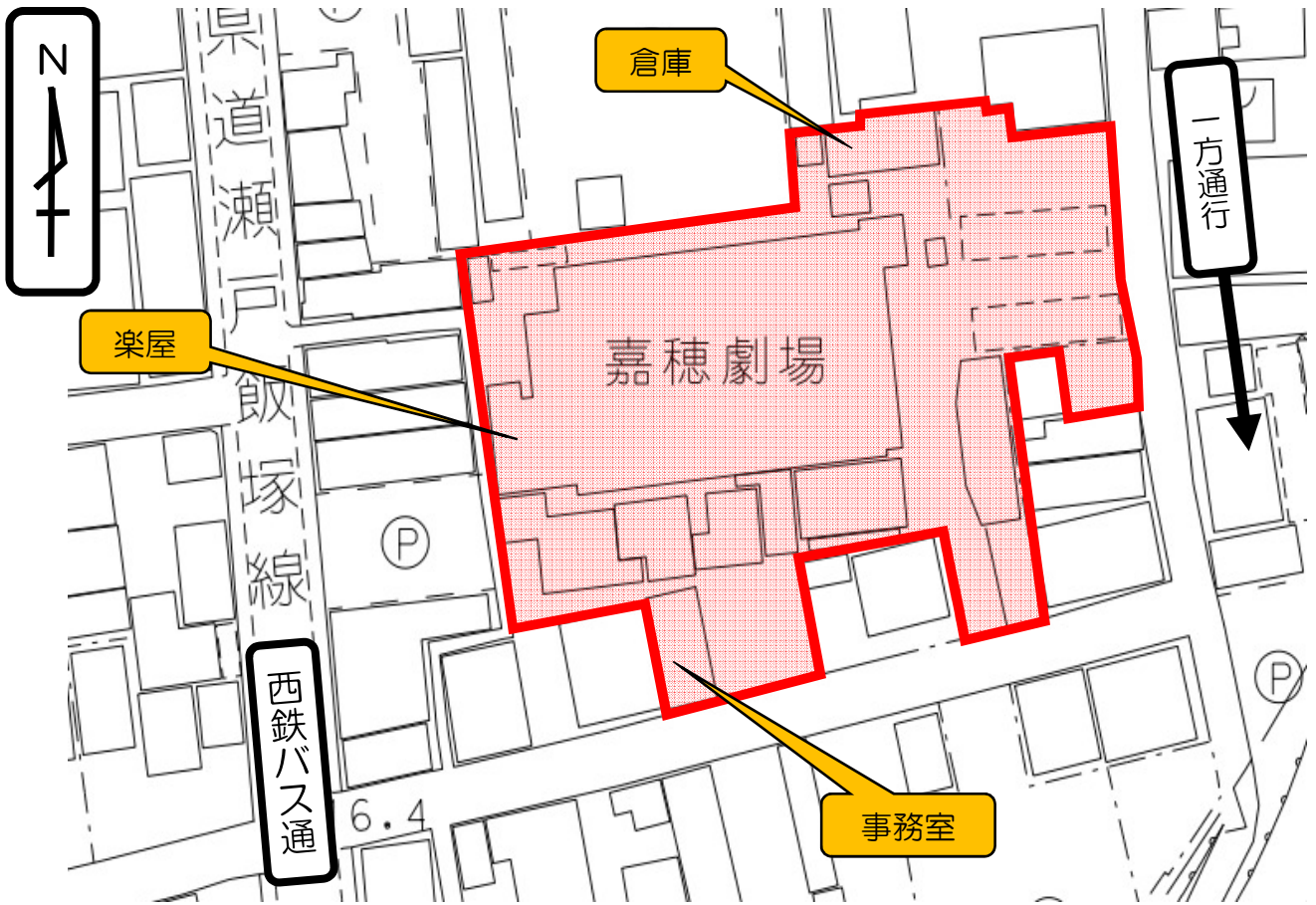
## 3 共存共栄について

- ◆ コスモスコモンの機関紙には、嘉穂劇場の興行・イベントを紹介するコーナーを設けていた。
- ◆ 歴史のあるまちか否かは市のまちづくりに大いに影響する。文化財、歴史はまちの魅力の一つになり得る。旧伝右衛門邸、嘉穂劇場、コスモスコモンの 3 つはまちの魅力を形成する建物である。
- ◆ かつて商店街の人通りが少なくなってきたとき、商工会議所の補助金を活用してコンサルタントの支援を受けたことがあった。その際のアドバイスとして、コスモスコモンのカラー舗装を嘉穂劇場までつなげ、夕涼みができる通りとして人の流れを作ることができれば、チャレンジショップなど商店が道路沿いに出店するのではないかという提案があっていた。

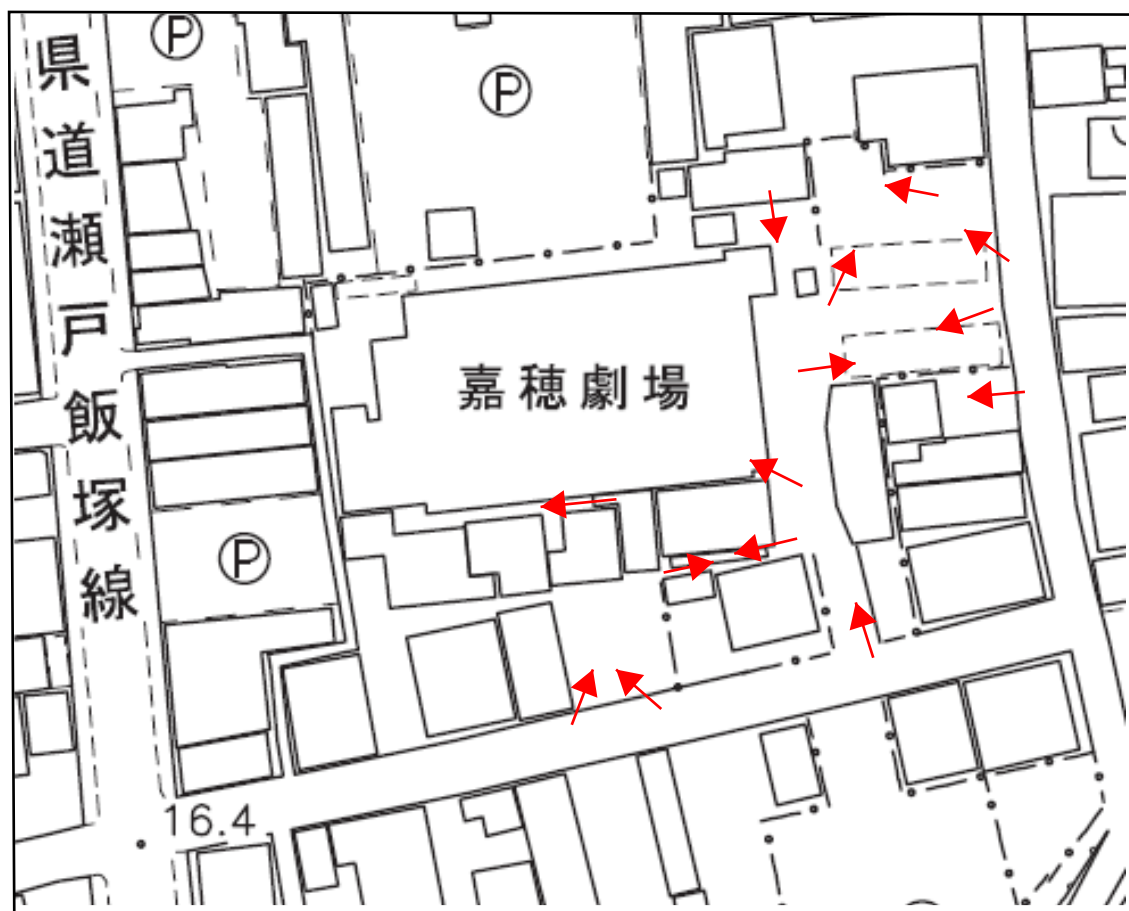
- ◆ 飯塚市には2つの文化施設(嘉徳劇場とコスモスコモン)があることに意味があり、よいことであると思う。
- ◆ 嘉徳劇場とコスモスコモンは近接しているのがよい。今後両者の特色を生かしてイベントが実施できる。嘉徳劇場は使い方次第である。



# 嘉穂劇場 周辺地図・航空写真



# 現地写真撮影位置図



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



9



10



11



12





13



14



## 新たな嘉穂劇場を目指す姿について

新たに動き出す嘉穂劇場の目指す姿について、広く市民の理解が得られるよう端的に表現するフレーズを作成しようとするもの。

一例を示しているが、この表現にとらわれることなく、次の意味を込めたフレーズの作成について各委員からの提案をお願いし、委員会の総意で作成していきたい。

(答申への反映を想定)

- ・ 諮問に答えるキーワードとなること
- ・ 新たな嘉穂劇場の目指す姿として、各委員の発言をまとめ、端的に表現するものとなること

(例) 「娯楽の殿堂から 舞台芸術の『聖地』へ」

### < 諮問内容 >

嘉穂劇場等文化施設の活用の方策に関すること

- (1) 嘉穂劇場の文化財としての価値を損なうことなく、地域経済の活性化に寄与する活用方策について
- (2) 嘉穂劇場と飯塚市文化会館をはじめとする文化施設や周辺商業施設との連携による活用方針について